鎌ケ谷市郷土資料館年報

第 37 号

[令和5年度]

鎌ケ谷市郷土資料館

目 次

Ι	管理・運営
1	施 設
2	予 算 1
3	組 織 1
4	日 誌 抄2
П	事業報告
1	常 設 展 示
2	常設展示観覧者数6
3	令和 5 年度企画展示 7
4	第 2 7 回 ミ ニ 展 示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
5	令和5年度新資料展示 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
6	教 育 普 及 活 動16
7	学 芸 員 講 師 派 遣
8	資料閲覧実績22
9	収蔵資料の利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
10	市内 歷史·民俗資料調查 ····································
11	資料収集(寄贈・寄託資料) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
12	資 料 借 用
13	歴史・民俗資料等の整理状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
14	古文書の修補25
15	他機関との協同事業・調査 ・・・・・・・・・・・・・・・・26
16	レファレンス26
17	報 道 対 応26
18	
19	ボランティア活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
20	刊 行 物27
21	市 ホ ー ム ペ ー ジ 掲 載 記 事 ・・・・・・・・・・・・・・・28
22	刊 行 物 の 売 払 実 績 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Ш	条例 • 規則
\circ	鎌ケ谷市郷土資料館設置及び管理条例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・30
\circ	鎌ケ谷市郷土資料館設置及び管理条例施行規則 ・・・・・・・・・・・・・・・3
\circ	鎌ケ谷市史編さん審議会条例3
IV	寄贈図書36

Ⅰ 管 理・運 営

1 施 設

〈施設概要〉

○建物名称 鎌ケ谷市郷土資料館

○所在地 鎌ケ谷市中央1-8-31

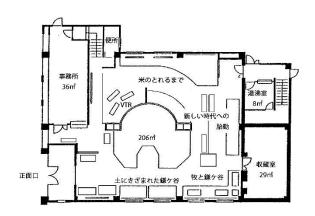
○開館年月日 昭和62年4月1日

○構造 鉄筋コンクリート造2階建

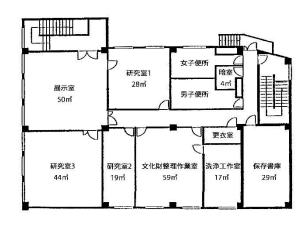
○敷地面積480.14㎡○建築面積336.70㎡○延床面積668.67㎡

○見取図

1階



2階





郷土資料館の外観

2 予算

項目	内 容	予算額 (千円)
報酬	パートタイム会計年度任用職員 報酬	5, 393
職員手当等		913
報償費	講師謝礼	144
旅費	費用弁償、普通旅費	267
需 用 費	消耗品費、燃料費 印刷製本費、光熱水費、修繕料	3, 109
役 務 費	通信運搬費、保険料	186
委 託 料	清掃委託、文化財くん蒸委託 空調設備保守点検委託 古文書修補業務委託 機械警備委託、古文書撮影マイ クロフィルム化委託 消防設備保守点検委託 消毒委託、自動ドア保守点検委 託	3, 333
使用料及び貸 借 料	リーダープリンター使用料 パソコン使用料 複写機使用料 AED借上料 ガス漏れ警報器借上料	1, 319
工事請負費	郷土資料館空調機改修工事	726
備品購入費	郷土資料館用備品	40
負担金補助及 び 交 付 金	千葉県史料保存活用連絡協議会 負担金 千葉県博物館協会負担金	13
	当初予算額	15, 443

3 組 織

○館長○主任主事○再任用職員1名(学芸員)○再任用職員1名(学芸員)

1名(事務職)

〇会計年度任用職員 6名(内 学芸員3名、 事務補助3名)

4 日誌抄 28日 講師派遣(南部公民館シルバーセミナー/31名)

〈令和5年〉

▼4月

1日 とっこめ桜まつり 講師派遣(ぶらり鎌ケ谷/11名)

7日 講師派遣(市新規採用職員研修/34名)

19日 HP 更新「第24回史料整理の現場から」

27日 資料借用(歴史資料/個人蔵)

28日 HP 更新「第11回デジタル写真館」

▼5月

6日 資料調査(市内個人宅)

11日 資料寄贈(民俗資料4点)

19日 第26回ミニ展示ギャラリートーク

① (5名) ② (6名)

聞き取り調査(市内個人宅)

20日 澁谷家住宅より第27回ミニ展示候補史料を抽出・26日 団体見学(市教育委員会及び随行職員/8名)

21日 第26回ミニ展示ギャラリートーク

③ (6名) ④ (5名)

24日 千葉県博物館協会(以下「県博協」)調査研究委 員会視察(つくば市/立野)

25日 令和4年度末廃棄予定市歴史公文書選別·搬入 (旧クリーンセンター保管分)

28日 第26回ミニ展示 終了

▼6月

1日 『郷土資料館だより』第63号発行 HP 更新「第25回史料整理の現場から」 聞き取り調査(市内個人宅)

6日 千葉県資料保存活用連絡協議会(以下「千葉史 協」)総会、講演会(県文書館/立野) 資料調査(県立中央図書館)

8日 モノ資料概要調査(市内個人宅) 資料借用(歴史資料/個人蔵)

9日 館内消毒

岡山県立記録資料館職員来館

14日 出前授業(北部小5年生2クラス/60名)

17日 資料調査(県内個人宅)

21日 県博協調査研究委員会(リモート/館長、立野) 郷土資料館ボランティア会議 出前授業(北部小4年生2クラス/57名)

25日 令和4年度末廃棄市歴史公文書搬入(市地下書庫 3日 HP 更新「第27回史料整理の現場から」 保管分)

27日 県博協調査・研究委員会研修会(つくば市/立野) 6日 取材対応(東京新聞/徳田家寄贈文書・民具)

▼7月

4日 団体見学 (いどばた会/12名)

5日 歴史的建造物保存活用計画策定委員会(館長)

9日 講師派遣 (鎌ケ谷三田会/38名)

12日~15日 団体見学(ファミリア鎌ケ谷/12日:17名、 13日:14名、14日:14名、15日:13名)

15日 第27回ミニ展示「災害と流行病の歴史と民俗 in 鎌ケ谷| 開会 ~10/1 取材対応(地域新聞社/第27回ミニ展示)

団体見学(自治大学校147期同窓会/12名)

19日 講師派遣 (東初富公民館いきいき倶楽部/45名) 団体見学(牧馬会/6名)

20日 千葉史協現地見学会(市原歴史博物館/館長) 資料寄贈(民俗資料7点)

22日 団体見学 (テイクハート鎌ケ谷/5名)

29日 資料寄贈(民俗資料17点)

30日 縄文人の生活ウォッチング (5名) 第27回ミニ展示ギャラリートーク① (5名)

▼8月

1日 HP 更新「第12回デジタル写真館」 HP 更新「第26回史料整理の現場から」

2日 令和4年度末廃棄市歴史公文書移管(山武市市外 倉庫保管分)

8日 取材対応(船橋よみうり/第27回ミニ展示)

12日 取材対応(船橋よみうり/市内の盆行事) 取材対応(読売新聞/第27回ミニ展示)

12日~20日 博物館実習(2名)

13日 夏休み子ども教室 まが玉づくり (27名)

16日 第27回ミニ展示ギャラリートーク② (7名)

19日 夏休み子ども教室 あんぎん編み (5名)

21日~24日 博物館蔵資料及び外部倉庫資料くん蒸

25日 取材対応 (千葉テレビ/鎌ケ谷大仏) 資料寄贈(民俗資料1点)

26日 第27回ミニ展示ギャラリートーク③ (2名)

30 日 資料寄贈 (歴史·民俗資料 7,795 点)

31日 資料寄贈(歴史資料602点) 資料寄贈(歴史·民俗資料 18 点)

▼9月

5日 団体見学(防災ネットワーク/6名)

- 7日 講師派遣(北部公民館タウンセミナー/30名)
- 9日 鎌高文化祭へ第27回ミニ展示の一部を出展
- 10日 講師派遣(木下まち育て塾/30名)
- 13日 資料借用・聞き取り調査 (歴史資料/個人蔵)
- 14日 第27回ミニ展示ギャラリートーク④ (4名)
- 『郷土資料館だより』第64号発行 15 日
- 16日 団体見学(東京基督教大学山口ゼミ/4名)
- 22日 令和4年度末廃棄予定市歴史公文書選別·搬入 (旧クリーンセンター保管分) 資料寄贈(歴史資料1点)
- 24日 第27回ミニ展示ギャラリートーク⑤ (7名)
- 27日 取材対応 (読売新聞/徳田家寄贈文書・民具)

▼10月

- 1日 歴史講演会 I (46 名)
- 4日 県博協役員会(県中央博/館長)
- 6日 講師派遣 (語り部の会/17名) 資料寄贈(歴史資料2点/新京成電鉄)
- 8日 資料借用 (歴史資料/個人蔵)
- 18日 出前授業(道野辺小4年生4クラス/138名) 東京修復保存センターへ市内古文書 13点の修補を 7日 郷土資料館セミナー③(29名) 委託
- 19日 資料寄贈(歴史資料4点)
- 20日 資料寄贈(歴史資料54点) 取材対応(千葉日報/新資料展示)
- 21日 澁谷家家紋調査(佐津間共同墓地)
- 26日 講師派遣(市新規採用職員研修/6名)
- 28日 令和5年度新資料展示開始~2/10

▼11月

- 1日 HP 更新「第 13 回デジタル写真館」
- 3日 祝日開館
- 7日 団体見学(鎌小3年生2クラス/66名)
- 8日 団体見学(鎌小3年生3クラス/94名)
- 9日 資料調査(市内個人宅)
- 15日~16日 全国博物館協会千葉県大会(館長)
- 15日 『郷土資料館だより』第65号発行
- 18日 資料寄贈(歴史資料18点) 団体見学(鎌ケ谷三田会/9名)
- 19日 新資料展示ギャラリートーク① (6名)
- 29日 田 更新「第28回史料整理の現場から」

▼12月

- 1日 資料寄贈(民俗資料1点)
- 3日 資料調査(安川家文書)※船橋市との合同調査 14日 取材対応(船橋よみうり/北初富の三峯講)

- 6日 出前授業(北部小6年生キャリア教育/15名) 聞き取り調査(令和5年度企画展関係/個人/研究 室1)
 - 団体見学(松戸の地名に親しむ会/14名)
- 7日 資料寄贈(民俗資料1点) 資料寄贈(民俗資料60点) 団体見学(とみの会/11名)
- 8日 県博協調査・研究委員会(リモート/館長・立野) 千葉史協第1回研修会(文書館/小野寺) 郷土資料館セミナー(1) (36 名)
- 12日 HP 更新「第29回史料整理の現場から」
- 15日 新資料展示ギャラリートーク② (1名)
- 16日 講師派遣·団体見学(千葉大学教育学部学校教員 養成課程小学校コース社会科選修1年生/29名)
- 17日 団体見学(千葉街道愛好会/13名)
- 24日 郷土資料館セミナー② (35名)
- 28日 資料寄贈(民俗資料2点)

〈令和6年〉

▼1月

- 13日 講師派遣(中央公民館/57名)
- 14日 資料調査(安川家文書)※船橋市との合同調査
- 21日 郷土資料館セミナー④ (33名)
- 23日 資料調査 (筆子塔撮影/宝泉院・延命寺・万福 寺及び安立庵)
- 26日 千葉史協第2回研修会(県文書館/館長)
- 27日 新資料展示ギャラリートーク③ (7名)
- 31日 資料調査(南部小)

▼2月

- 1日 『郷土資料館だより』第66号発行
- 6日 取材対応(北総鉄道/館概要)
- 7日 資料借用(民俗資料/船橋市郷土資料館)
- 15日 講師派遣(東部学習センター/57名)
- 20日 出前授業 (中部小3年生4クラス/113名)
- 21日 県博協 東葛ブロック会議(流山市博/館長)
- 27日 団体見学(北部小3年生2クラス/66名)

▼3月

- 1日 『鎌ケ谷市郷土資料館年報』第36号発行
- 2日 自然観察会 (14名)
- 8日 資料寄贈(民俗資料2点)
- 12日 県博協情報伝達訓練

16日 令和5年度企画展「鎌ケ谷の小学校150年史」開始 (~5/26)

同展図録発行

- 19日 取材対応 (読売新聞/令和5年度企画展) 取材対応 (船橋よみうり/令和5年度企画展) 取材対応 (千葉日報/令和5年度企画展)
- 22日 古文書修補完成
- 23日 企画展ギャラリートーク① (4名)
- 28日 資料寄贈(歴史・民俗資料 26 点) 取材対応(J:COM/令和 5 年度企画展)
- 30日 歴史講演会Ⅱ (39名)

Ⅱ事業報告

1 常設展示

【展示テーマ】

「鎌ケ谷に生きた人々のくらし」

市内に残されている自然・考古・歴史・民俗等 の資料を中心に、原始・古代から現代までの各時 代に生きた、市域の人々の生活を明らかにするこ とをテーマとしています。

[土にきざまれた鎌ケ谷]

旧石器時代

○市域に人が住みはじめたころ

縄文時代

- ○根郷貝塚に埋葬された人々
- ○中沢貝塚発掘調査のあゆみ
- ○貝塚を掘る
- ○中沢貝塚の大型竪穴建物跡

市内では、今から約30,000年前の旧石器時代の東林跡遺跡などが確認されていますが、縄文時代に入るとさらに多くの遺跡が確認されています。その中でも代表的な根郷貝塚・中沢貝塚などから出土した土器・石器を中心に展示しており、特に根郷貝塚出土の人骨は県内でも貴重な資料です。

古墳時代

○新たな時代の幕開け ―古墳時代の鎌ケ谷―

奈良時代~平安時代

- ○奈良・平安時代のムラ
- ○墨書土器と鉄製品

市内では現在のところ、弥生時代の遺跡は確認されていません。その後、古墳時代では一本松遺跡など、奈良時代では大堀込遺跡などが確認されています。平安時代初期の双賀辺田No.1遺跡は特殊な性格をもった集落跡として注目され、遺物と復元住居を展示しています。

鎌倉時代~戦国時代

- ○板碑 ―中世の人びとの祈り―
- ○佐津間城と佐津間村の人びと
- ○市域出土の中世陶器

市内には佐津間城跡などの中世遺跡がいくつか確認されています。その中でも中沢の根郷No.1遺跡や万福寺境内遺跡から出土した板碑・蔵骨器・灯明皿などを展示しているほか、市域の地名が初めて登場する古文書や佐津間城について写真で紹介しています。

〔牧と鎌ケ谷宿〕

江戸時代

○田中藩南相馬領の村々

江戸時代の市域の村の様子を知ることができる 検地帳などの古文書を展示しています。

- ○下総の脇街道「木下道」
- ○鎌ケ谷宿と鎌ケ谷大仏

渡辺崋山が描いた「四州真景図」など、江戸時代に利根川沿岸と江戸を結んだ木下街道の宿場として栄えた鎌ケ谷宿関係の資料を展示しています。

- ○国史跡「下総小金中野牧跡」
- ○牧士三橋家と清田家

江戸時代の市域には、江戸幕府直営の小金中野 牧が広がっていました。牧の管理を担った牧士三 橋家文書などを展示しています。

- ○絵図でみた市域の村① -鎌ケ谷村-
- ○絵図でみた市域の村② ―軽井沢新田― 江戸時代の市域の村々を残された絵図から紹介 しています。
- ○寺子屋で学んだ子どもたち

〔新しい時代の胎動〕

幕末・維新

- ○草莽の志士 渋谷総司
- ○市川・船橋戦争と市域

市内佐津間出身の幕末の志士で赤報隊の幹部渋 谷総司関係の史料、市川・船橋戦争関係の史料な ど幕末・維新期の史料を展示しています。

明治時代~平成時代

- ○初富の開墾
- ○開墾の父 北島秀朝

中野牧を開墾して成立した初富村の人々の苦労 を伝える「養蚕大絵馬」などの資料を展示してい ます。

○学校のあゆみ

近代日本の発展と深い関係のある教育関連資料 として、明治〜昭和初年の教科書や年表を展示し ています。

○鎌ケ谷鉄道発展史

市域に関係の深い東武鉄道・新京成電鉄や、明 治末~大正期にかけて木下街道に敷かれた東葛人 車鉄道の写真パネルを展示しています。

○村から町へ、町から市へ

明治時代から第二次世界大戦直後まで農業が主体だった市域は、高度経済成長と首都圏への人口集中を経て、東京近郊の住宅都市へと生まれ変わります。明治・大正・昭和・平成の間に大きく変貌した市域を紹介しています。

2 常設展示観覧者数

○戦場に赴いた人々

○戦時下のくらし

日中戦争・太平洋戦争と戦争が拡大・長期化するなかで、市域からも多くの人々が戦場に赴き、 多数の人が命を落としました。このなかには、特 攻隊員として出撃し、戦死した人もいます。

また、銃後の鎌ケ谷村では、雑穀などの収穫を ふやし、食料増産に取り組みました。

〔鎌ケ谷の民俗〕

○谷津田の米作り

市域の米づくりは、下総台地に切れ込んだ谷津 で行われていました。その概要がわかるように農 具・写真パネル等を展示しています。

○様々な農具

明治〜昭和期にかけての生活をイメージする手助けとなるよう、昔の家族の団らんの場で使用された民具等を展示しています。

入館者カードによる集計単位:人、日(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

	市外	市内	男	女	大人	子ども	合計	日数
4月	91	144	157	78	220	15	235	25
5月	95	150	155	90	225	21	245	24
6月	88	122	125	85	171	39	210	26
7月	157	229	201	185	330	56	386	25
8月	127	171	169	129	229	69	298	23
9月	145	151	186	110	265	31	296	24
10 月	62	151	128	85	189	24	213	25
11月	74	322	233	163	207	189	396	25
12 月	124	88	118	94	187	25	212	23
1月	73	104	118	59	156	21	177	23
2月	51	193	140	104	162	82	244	23
3月	78	161	132	107	200	39	239	26
合計	1, 165	1, 986	1, 862	1, 289	2, 540	611	3, 151	292

3 令和5年度企画展示

千葉県誕生150周年記念事業 【鎌ケ谷の小学校150年史】

会場:郷土資料館 2階展示室

期間:令和6年3月16日~5月26日

(60 日間 724 名来場)

明治6年(1873)に鎌ケ谷市域に初めての小学校が設置されてから、150年の年月が経過しました。この企画展では、明治・大正・昭和・平成の市域小学校のあゆみを当時の写真や様々な歴史資料でたどりました。

[展示内容]

- (1) 明治前期の小学校-「学制」と市域小学校の誕生-
- (2) 明治中・後期の小学校
 - 「教育令」「小学校令」と3尋常小学校の時代-
- (3) 大正から昭和初期の小学校
 - -鎌ケ谷尋常・高等小学校の開校と「学校問題」-
- (4) 太平洋戦争のころの小学校 「国民学校」の時代 -
- (5) 昭和中・後期以降の小学校-「六三三四制」の時代-



展示の様子

様々を京原土資料値々和5年度企画展 干葉県誕生150周年記念事業 鎌ケ谷の小学校150年史 第750年史 第750年史 1970年 (大人・1845年) 1881年 (大人・1845年) 1881年 (大人・1846年) 1881年

〔関連企画〕

○歴史講演会 I 「わたしたちの学校」ができたころ -学制150年のあゆみ-(令和6年度事業)

令和6年5月19日

23名参加

〇ギャラリートーク

令和6年3月23日、4月11·24日、5月3·4·5日 計27名参加

〇収蔵資料展示vol.26

「寺子屋安川舎で学んだ中沢村の子ども」

会場:郷土資料館 1階収蔵資料展示コーナー



ギャラリートークの様子

アンケート結果

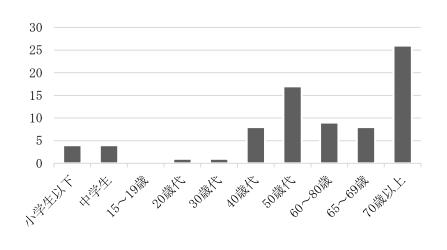
■ ご性別

選択肢	回答数
男	48
女	30
その他	0
計	78



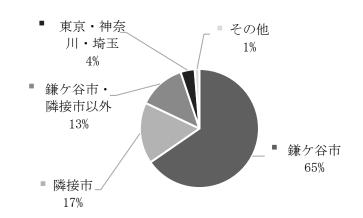
■ ご年齢

選択肢	回答数
小学生以下	4
中学生	4
15~19 歳	0
20 歳代	1
30 歳代	1
40 歳代	8
50 歳代	17
60~64 歳	9
65~69 歳	8
70 歳以上	26
計	78



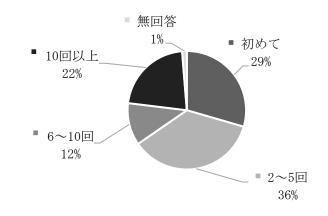
■ お住まい

選択肢	回答数
鎌ケ谷市内	51
隣接市	13
千葉県内	10
東京・神奈川・埼玉	3
その他	1
計	78



■ 来館回数

選択肢	回答数
初めて	23
2~5 回	28
6~10 回	9
10 回以上	17
無回答	1
計	78

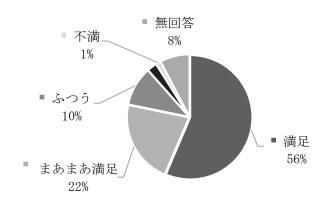


■ 一番印象に残ったもの、気になった資料

東部小学校の看板/明治、大正期の卒業(修業)証/S30の本校空撮写真/昔の教科書/教育勅語奉納箱/中部小のてぬぐいの校歌/通知票/沿革誌/初期の市域の様子を示す資料/机といす/修業証書等にある当時の学校名/自分の写真があってびっくり!!/振り鐘、学習参考書/写真類

■ 企画展の満足度

選択肢	回答数
満足	44
まあまあ満足	17
ふつう	8
やや不満	2
不満	1
無回答	6
計	78



自由記入欄(満足度の理由等)

- ・自分の出身の学校について、くわしく昔を知ることが出来たから。
- ・「学制」発布以降、様々な事を経て今につながっていること、改めて認識しました。
- ・明治から大正にかけて、学校へ行くことができない子どもに対してどのような対応をしていたか知りたい。
- ・自分の時代のものがなかった。
- ・古い時代のことがたくさん知れました。
- とてもわかりやすく良い展示でした。来てよかったです。
- ・写真はよかったが、モノ展示があるとよりよかったと思います。

■「あなたの小学校の思い出や、この展示にはなかったことを知っていたら教えて下さい。」

- ・自身の卒後30年以上を経て、南部小に我が子が 入学しました。今は少人数でアットホームな雰囲 気ですが、当時は45人クラス×各学年6クラス の大人数で、校舎を持て余しているのが少しさみ しくもあります。
- ・記憶の中の小学校と写真と一致しないところがあったが、実際は工事中だったのかと懐かしく確認できた。
- ・母が昭和7年生まれで、鎌小校舎の前で写した集合写真が懐かしく思い出されます。私も3年生まで(後に西部小へ)おりましたので懐かしく見ました。プレハブ校舎→新校舎→西部小新校舎と落ち着きのない小学校生活でした。

■ 感想·自由記入欄

- ・自分のまた親の昔について知ることができ、自分 の出身の小学、中学校についても良く知ることが できました。
- ・子供達がお世話になった学校の歴史を知ることができてよかった。
- ・S21年の小3生徒の笑顔写真がとても印象的でした。戦争終わり、新しい社会の到来です。又、先生達の笑顔も好印象です。
- ・卒業した小学校ではないが、自分の事も重ねてなったい気持ちになった。昭和初期の写真は祖母の年代くらいと思われるが、きっとこんな感じだったのかなと想像しながら楽しんで観ることができた。自宅に帰ってもう一度振り返りたいと思う。
- ・古いもの中心で、自分の世代のもの見たかったです。

4 第27回ミニ展示

【災害と流行病の歴史と民俗 in 鎌ケ谷】

会場:郷土資料館 1・2階展示室

期間:令和5年7月15日~10月1日

(61日間 819名来場)

近世から近・現代にかけて市域が関わった災害や流 行病に関する歴史資料と伝承された民俗資料を展示 し、近い将来でこれらの事態が生起した際の参考と していただくことを目的としました。



ミニ展示見学の様子

[展示内容]

- I 災害の記録と記憶
 - (1) 関東大震災
 - (2) 気象災害
 - (3) 火災
 - (4) 写真に見る昭和40年代~令和の市域の災害
- Ⅱ 流行病の記録と記憶
 - (1) 疱瘡(天然痘)
 - (2) 近代に流行した伝染病
 - (3) スペイン風邪 流行性感冒 -
 - (4) 病の克服へ
 - ①衛生思想の普及
 - ②避病所から医療施設へ
 - ③薬の効用
 - (5) 新型コロナウイルス感染症の記憶

〔関連企画〕

○歴史講演会「関東大震災の被害と救護活動から の教訓」(別掲)

10月1日

46名参加

〇ギャラリートーク

7月30日、8月16・26日、9月8・14・24日

計25名参加

〇収蔵資料展示vol.24

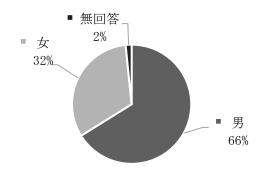
「関東大震災の史料②~震災100周年~」

会場:郷土資料館 1階収蔵資料展示コーナー

アンケート結果

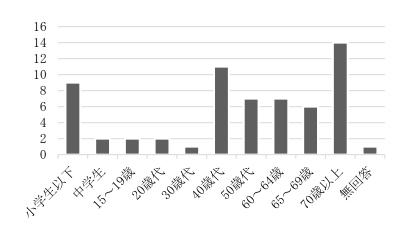
■ ご性別

選択肢	回答数
男	41
女	20
その他	0
無回答	1
計	62



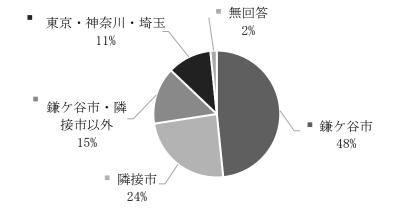
■ ご年齢

選択肢	回答数
小学生以下	9
中学生	2
15~19 歳	2
20 歳代	2
30 歳代	1
40 歳代	11
50 歳代	7
60~64 歳	7
65~69 歳	6
70 歳以上	14
無回答	1
計	62



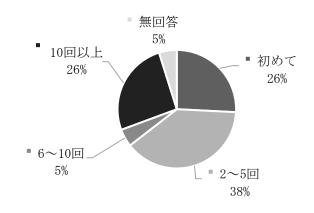
■ お住まい

選択肢	回答数
鎌ケ谷市内	30
隣接市	15
千葉県内	9
東京・神奈川・埼玉	7
その他	0
無回答	1
計	62



■ 来館回数

選択肢	回答数
初めて	16
2~5回くらい	24
6~10回くらい	3
10 回以上	16
無回答	3
計	62

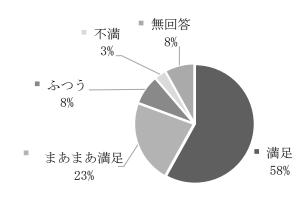


■ 一番印象に残ったもの、気になった資料

疱瘡について/地震(T12年)対応や一般の情報がわかり、良かった。/当時の印刷物など/天然痘/ウンカなど農業被害のあることを知った。/消防団関係・刺子/聞き取りで確認された市域外への病気平癒祈願/学校の沿革誌/あんばさま/近代に流行した伝染病/御札/消防団第八分団法被/大震災の朝鮮人虐殺関東大震災の資料/兵士の書いた手紙/ポンプ/くすり/東京湾台風/関東大震災に関する市域の聞き書き/5年前の台風15号の時に鎌ケ谷市に避難者がきた。昔もあったんだ!

■ 企画展の満足度

選択肢	回答数
満足	36
まあまあ満足	14
ふつう	5
やや不満	0
不満	2
無回答	5
計	62



自由記入欄(満足度の理由等)

- ・災害や流行病などについてよく知れました。鎌ケ 谷市の状況などについても分かった。
- ・ 資料がくわしく書かれていて、小学生でも分かっ た。
- ・資料が結構そろっていると思った。
- ・デマで朝鮮人都内だけだと思ったら鎌ケ谷市でも あったんだとびっくり。
- ・関東大震災 100 年とかかわらせつつ、災害、流行 病等様々な視点から紹介しており、非常に勉強に なりました。

- ・おもしろかった。歴史的(昔)のものだけでなく、これから歴史として記録されるだろうコロナまでとりあげている点がすばらしい。
 - ・市の規模の割には資料等が充実していた。また、 郷土資料の活用が多く、地域での被害の記録があった点が優れている。
 - ・過去だけでなく現代まで取り上げているところ。 歴史だけでなく民俗的なとらえ方をしているのも 良い。
 - ・ほうそう神のほこらの存在がよくわかった。

■ 感想·自由記入欄

- ・船橋の神社をたずねた時にかならず疱瘡の石塔がありました。とても気になっていたのですが、鎌ケ谷でもたくさんの人が亡くなっていたのを知りました。薬のおかげというのもよく理解できました。
- ・60代、70代で見ました。薬の袋を見て、昔、富山の薬売りのことを思い出し、子どもの頃薬売りのおじさんが子どもには紙風船をくれたことを思い出し、おしゃべり…昔の頃を思い出す時間になりました。
- ・子どもには漢字がたくさんでわかりづらいようで したが、写真や実物があり理解を深めることがで きたようです。ありがとうございました。

- ・災害や病に関する様々な地域資料が展示しており、改めて地域資料の大切さを実感しました。また、学校沿革誌や事務報告書等からも災害等に関する情報が得られることも再確認した次第です。
- ・スペースを工夫しつつ、貴重な資料がならぶ、充 実した展示だったと思います。ありがとうござい ました。
- ・関東大震災、風水害、伝染病などの当時の状況 が、ご当地地域での防災が知ることが出来、有益 でありました。有難うございます。
- ・今回の展示では図録のようなものは作られなかったのですか?これだけの展示だったので、解説パンフのようなものが欲しかった。

5 令和5年度新資料展示

【新発見!鎌ケ谷のたからもの ~文化財に親しもう!~】

会場:郷土資料館 1・2階展示室

期間:令和5年10月28日~令和6年2月10日

(83日間 898名来場)

令和4年度に発見・調査・整理を行った、あるい は寄贈された歴史・民俗資料と、新たに発掘した埋 蔵文化財をご紹介しました。

〔展示内容〕

- ① 歴史資料(古文書、歴史公文書)
- ② 民俗資料(農具、生活用品、遊具など)
- ③ 考古資料(発掘調査出土遺物、寄贈資料)

〔関連企画〕

〇ギャラリートーク

11月19日、12月15日、1月27日 計14名参加

アンケート結果

■ ご性別

選択肢	回答数
男	45
女	27
その他	0
計	72

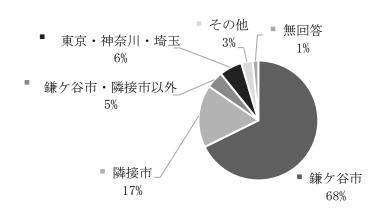
10/28 € ▶ 2/10 € 1811 (1721 年 19.12 1721 日 1

男 61%

女 39%

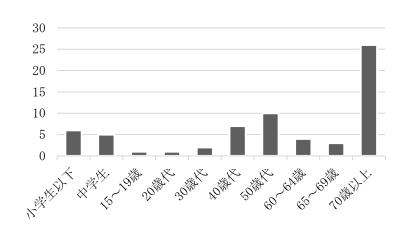
■ お住まい

選択肢	回答数
鎌ケ谷市内	44
隣接市	21
千葉県内	2
東京・神奈川・埼玉	3
その他	1
無回答	1
計	72



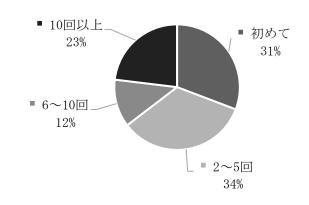
■ ご年齢

選択肢	回答数
小学生以下	8
中学生	2
15~19 歳	2
20 歳代	2
30 歳代	2
40 歳代	7
50 歳代	11
60~64 歳	6
65~69 歳	8
70 歳以上	24
計	72



■ 来館回数

選択肢	回答数		
初めて	26		
2~5回くらい	21		
6~10回くらい	4		
10 回以上	21		
計	72		

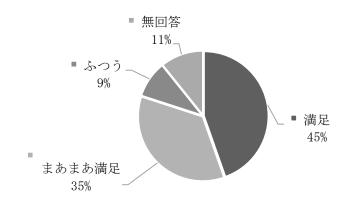


■ 一番印象に残ったもの、気になった資料

津川象氏の日誌/玉入れゲーム/糸巻/戦前の写真/錦絵/養/鎌ヶ谷高校の資料/奈良・平安時代の住居/昔の家具/徳川時代の着物/学校資料と遊びの酒類/ちくおんき/鎌高10周年記事/しぶやそうじ、土器/ホドジン:子どもの頃母が使っていました。/鎌高創立の歴史/現物を拝見でき良かったです。/明治の下総台地開墾/ファイターズ関係書/小供風俗/住居表示(中沢)/羽子板・羽根/周延の浮世絵 羽釜

■ 企画展の満足度

選択肢	回答数
満足	40
まあまあ満足	18
ふつう	5
やや不満	0
不満	0
無回答	9
計	72



自由記入欄(満足度の理由等)

- してわかりやすくなっていた。
- ・内容が良かった。又来ます。
- ・色々発見できてたのしかったです。
- 昔のたくさんのものが知れてよかった。おもしろ かったです!
- いろいろなことを見て知れたから。
- 状態がとてもキレイ。静か。
- 鎌高の開校等が資料として展示される等、自分が 年令を重ねたことが実感できました。
- ・事業仕分けなど珍しい展示

- ・1~2年前にも見ましたが、そのときより、工夫・新収蔵のため多少散らばった感は否めないので、 いずれテーマ展などで詳しく見られることを期待 しています。
 - ・貴重な資料を後世に伝承する大切さを痛感しまし た。むずかしくもあり大変なことと思います が・・・
 - 鎌高卒の娘に伝えたい。
 - ・テーマが広すぎるような気がしました。
 - この地に生を受け、知らなかった事がこれだけ あったとは!
 - ・錦絵が見られたから。

■ 感想·自由記入欄

- 小さな資料館ではあるが、珍しいものも多い。パ ンフも整備されていて、大いに感心しました。小 さい子にはもう少しわかりやすいものも欲しい (授業などで、関心が高くなるように)。特色あ るものも多いので、広く広報されることを祈りま す。
- これから新しい企画のたびに来たいと思います。 延命寺の歴史や宝物を知りたいです。
- ・受所・愛国ヶ丘という字名を聞いたことがありま した。だいたいあのあたりと思っていましたが、 資料により確認できました。住居表示変更に反対 する方もいらしたのですね。それぞれの思い入れ がある地名だったのだと思います。新表示は若い 人にはわかりやすくて便利なのでしょうが、土地 の歴史という点からは考えさせられます。

- ・錦絵の色がきれいで、驚きました。
- ・津川氏の日記―当時の世の中のことなど書かれて いるみたいで、面白そうだなと思います。
- ・展示資料一覧ありがとうございます。
- ・なます皿 我が家にも煮た様な皿がありビックリ しました。新潟から 55 年前に持ってきました。 私も使ったので、なつかしいです。
- 非常になつかしく、楽しかったです。実家の裏に 小山があり、放牧の為の見張り山だよと教えられ たことがあります。
- ・鎌ケ谷に関する資料を見ることができて面白かっ た。
- ・浮世絵:大作家の作品が見られるとはありがたか ったです。羽釜:鉄製が基本だと思っていたので アルミ製というのは大変おもしろく感じました。

■ 【おまけ】あなたがイチ押しする鎌ケ谷の文化財を教えてください(指定・未指定問いません)

※市外の方はお住まいの地域の文化財を紹介してくださっても結構です。

- ・土偶の(星形)面白さ。野馬追いの史跡保存がよ くされたと思います。ありがとうございました。
- 捕込
- ・鎌ケ谷大仏
- · 小金中野牧、中沢谷地地帯

- ・駅名にもなっているのに、小さい鎌ケ谷大仏で す。
 - 木下宿(丸屋、大仏)
 - ・庚申塚の写真
 - · 東京大仏 (東京都板橋区)
 - ・とっこめ

6 教育普及活動

【縄文人の生活ウォッチング】

大昔に鎌ケ谷の地で生きた縄文人の生活を遺跡 から出土した実際の土器を見たり、ふれたり、ま た火おこしなどの体験をとおして学びました。

〈7月30日〉(5名)

参加者の感想(一部編集・抜粋)

火おこしでは、けむりは、でましたが火種がつきませんでした。縄文人は、毎日とてもきつい火おこしをしているのは「すごいな」と思いました。図書館の3階で土器をさわっているとき、模様をつけているときは、縄で、模様をつけているのはびっくりしました!

【夏休みこども教室】

大昔の技術を体験することにより、モノづくりの大変さを学ぶとともに、歴史への興味を深めました。

講師: 当館職員・ボランティア 会場: 図書館3階集会室・保育室

まが玉づくり

〈8月13日〉 (27名)

あんぎんコースター編み

〈8月19日〉(5名)

講師: 当館職員・ボランティア

会場:図書館・資料館

- ・縄文土器にふれる
- ・火起こし

・縄文人は、かりなどをし、生きていて、すごい!と思った。今、貝がら山公園の下には、たくさん貝がらがあるらしい。やよい時代の石器や土器、どうしてないのかと思った。



参加者の感想(一部編集・抜粋)

【まが玉づくり】

・最初はかんたんかと思っていたけど、まるくするところや、けずるときがむずかしくて、かんたんではありませんでした。でも、ぼくにとってはよくできた方かと思います。あと、ぼくはまが玉は鳥のつめの形だと思います。

【あんぎんコースター編み】

・私のしょう来の夢はファッションデザイナーなので今日は、いい経験になりました。また、左・右と順をときどきまちがえてしまったりしてとても大変でした。

- ・最初は、とても力がいり大変でした。また、く ぼみをつくるのが大変でした。
 - ・今日の、まが玉づくりで、2時間かけて、まが 玉ができたので、昔の縄文人は、何時間かけ て、石でまが玉をつくっているのかが気になり ました。
 - ・意外と早くできて簡単でした。家でコースター としてつかおうと思います。糸も本当は、植物 のせんいから作っていたんだと知っておどろき ました。今度、太めの毛糸を買って作ってみた いです。

【郷土資料館セミナー「房総の人と自然」】

鎌ケ谷市域を含む房総地域の自然について、人の生活や諸活動との関わりを、各分野の専門家に講義いただき、その現状を理解するとともに、保存・活用について考えることを目的として開催しました。

会場: すべて図書館本館3階集会室

①「房総丘陵の自然」

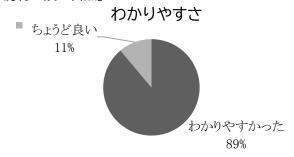
講師:尾崎煙雄氏

(県立中央博物館上席研究員)

〈12月8日〉(36名)

参加者の感想

①「房総丘陵の自然」



- ・ラジオでよく聴いていましたが、直接のお話は なお良いですね。学術的が確かであり、わかり やすい裏付け。
- ・学者の目から見た千葉県の山々は、何も関心の ない者とは、大いに違うものと感服しました。

②「鳥類からみた都市と自然〜ツバメ・スズメ・カラス・猛禽類の栄枯盛衰〜」

講師: 唐沢孝一氏 (NPO 法人自然観察大学学長) 〈12月24日〉 (35名)

③「ホタルの環境から考える」

講師:横田耕明氏

(市環境課ビオトープ利活用推進指導員)

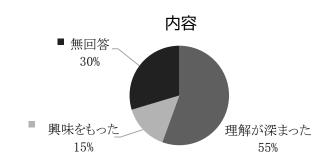
〈1月7日〉(29名)

④「長田谷津(大町自然公園)のいま」

講師:金子謙一氏

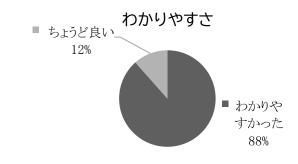
(市立市川自然博物館学芸員)

〈1月21日〉(33名)

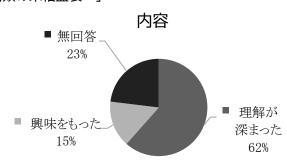


- ・NHK ラジオ「マイあさ」に出演されている時と 同じく、とてもわかりやすく受講できました。
- ・地元を知り、更に興味がわいた。とても愉快な 講師の先生で楽しい時間でした。
- ・房総丘陵の特徴がわかって良かった。

②「鳥類から見た都市と自然~ツバメ・スズメ・カラス・猛禽類の栄枯盛衰~」



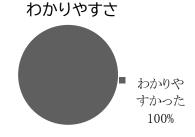
- ・ 温暖化による生物への影響、とてもこわいと思いました。
- ・奥の深い話で、改めて著書を読んでみたい。
- ・研究は根気ある観察による、ことを知りました。その根気は深い興味から継続することが出



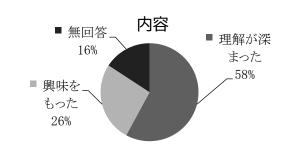
来る。先生の野鳥愛が深く、素晴らしいことを 感じました。

・普段見慣れている鳥の生態をわかりやすく話して下さり、時間があっという間に過ぎました。 ありがとうございました。

③「ホタルの環境から考える」

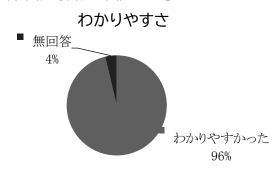


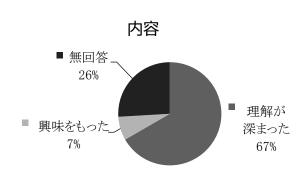
- ・ホタルをテーマとして、自然と人間のかか わりについて理解できた。
- ・ホタルの生態がよくわかりました。ホタル の幼虫がどのようにしてカワニナを食べる のか疑問でしたが、動画を見てよくわかり ました。ありがとうございました。



- ・先生の知識の深さと分かり易い説明、非常 に良かったです。
- ・非常に実践的、体験的であり、良いお話が 聞かせていただきました。パンフレット良 く出来ていてわかりやすかったです。
- ・維持する事が大切だと思いました。

④「長田谷津(大町自然公園)のいま」





- ・都市計画の課題、大きな責任がある。環境保全 しないとなくなる自然。自然保護によく尽力し ている人で感心しました。
- ・大町自然公園の維持に、ご苦労され また熱意 をもって自然を守っていることに感銘を受けま した。ありがとうございました。
- ・最近自然の昆虫、カエル、蝶、トンボ、鳥等を 見かけなくなったので、長田谷津はとても魅力 的なところだなと感じました。
- ・大変興味深かった。先生の長田谷津愛をとても 感じました。長田谷津の将来を見てみたいで す。

【歴史講演会 I「関東大震災の被害と救護活動からの教訓」】

会場:まなびいプラザ研修室 I

講師:鈴木 淳氏

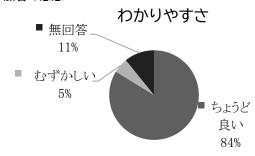
(東京大学大学院人文社会系研究科教授)

〈10月1日〉(46名)

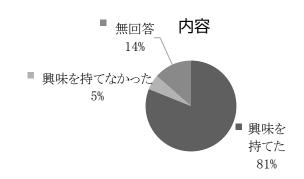
令和5年は未曽有の大災害であった関東大震災からちょうど100年目にあたる年。近い将来、

南海トラフ地震や首都直下地震などの巨大地震が起こることも懸念される中、本講演では関東大震災勃発直後に、消防・医療・ボランティアに携わった人々の行動について、千葉県の事例を含めて紹介していただきました。

参加者の感想



- ・東京の下町で幼・小中高大と教育を受けてきた が、関東大震災の実像を初めて聞いたような気 がする。東京大空襲やヒロシマの方が多かった かもしれない。
- ・流言飛語について あいまいな情報に流されな いように、日頃からの心の訓練が大切と思いま した。



- ・自警団の話は、現代でも形を変えて同じような 不幸な問題が発生する可能性があり、十分に注 意すべき事です。
- 「流言と教訓」に関しての講話をもう少し詳し く聞きたかったです。想像力を働かせることを 心に刻みます。

【歴史講演会Ⅱ「鎌ケ谷に残っていた戦争遺跡」】

会場:中央公民館学習室1

〈3月30日〉 (39名)

①「藤ケ谷飛行場を俯瞰する」

講師:櫻井良樹氏

(麗澤大学国際学部国際学科教授

・柏市史編さん委員会参与)

②「軽井沢地区秋水燃料庫調査報告

~近代産業遺産としての歴史的重要性~」

講師:柴田一哉氏(秋水研究家)

SHIROI Airfield 1945/1/16作成

講演会の様子

参加者の感想

わかりやすさ ■ 無回答 10% ■ むずかしい 3% ■ ちょうど良い 87%

- ・藤ヶ谷飛行場、秋水について、大変具体的 でわかりやすいお話をいただき、ありがと うございました。
- ・軽井沢の遺構、チャンスがあれば是非見学 したいと思います。

内容 ■ 無回答 13% ■ 興味を持てた 87%

- ・盛り沢山で大変おもしろく聴講できました。
- ・藤ヶ谷飛行場の造成の流れ→空中写真・米 軍資料などビジュアルに見せてもらってわ かりやすかった。秋水燃料庫→柏と一緒に 話してもらって、大変よくわかった。

【自然観察会「春の自然観察会 ~大津川の岸辺にそって歩きます。~」】

場所:北部公民館~大津川

講師:唐沢孝一氏(NP0法人自然観察大学学長)

〈3月2日〉 (14名)

大津川沿いを散策しながら、野鳥や植物を観察し、

早春の自然と触れ合いました。



7 学芸員講師派遣

No.	月日	派遣先	内容	場所	受講者数
1	4月1日	ぶらり鎌ケ谷	文化財探訪	市内野外(鎌ケ谷地区)	11
2	4月7日	市人事室	令和5年度新規採用職員(4/1採用) 研修「鎌ケ谷の歴史」	まなびぃプラザ研修室 1	34
3	6月14日	北部小学校	5年生社会科「鎌ケ谷で行われていた 米作り」	北部小学校家庭科教室	60
4	6月21日	北部小学校	4年生社会科「見つけてみよう!北部 小のまわりの歴史」	北部小学校家庭科教室	57
5	6月28日	南部公民館	南部シルバーセミナー教養講座「鎌ケ 谷の歴史-江戸時代の市域-」	南部公民館集会室	31
6	7月9日	鎌ケ谷三田会	明治の官民プロジェクト「初富開墾」	MTmilly's	38
7	7月19日	東初富公民館	いきいき倶楽部 歴史・文化講座 「鎌ケ谷市の歴史〜明治時代の市域〜」	東初富公民館	45
8	9月7日	北部公民館	北部タウンセミナー歴史講座 「佐津間の名望家渋谷家と渋谷家文書」	北部公民館集会室	30
9	9月10日	木下まち育て塾	木下まち育て塾結成20周年記念事業 令和5年度市民歴史講座「小金牧と下 総牧開墾」	印西市中央公民館視聴覚 室	30
10	10月6日	鎌ケ谷語り部協会	鎌ケ谷語り部養成講座「下総小金中野 牧跡」	中央公民館学習室 1	17
11	10月18日	道野辺小学校	4年生総合「大むかしの鎌ケ谷のくら しをのぞいてみよう」	道野辺小学校	138
12	10月26日	市人事室	令和5年度新規採用職員(10/1採用) 研修「鎌ケ谷の歴史」	市役所本庁	6
13	12月6日	北部小学校	6年生キャリア教育「学芸員の仕事に ついて」	北部小学校体育館	15
14	12月16日	千葉大学教育学部 学校教員養成課程 小学校コース社会 科選修	教育学部「身近な地域・施設を調べる」	遊谷家住宅、佐津間自治 会館、宝泉院、資料館な ど	29

			歴史講座「江戸時代の市域を支配した			
15	15 1月13日 中央公民館		譜代大名本多氏~本多正重とその子孫	中央公民館集会室	57	
			たち~」			
16	2月15日	東部学習センター	東部市民セミナー歴史講座「商いの記	東部学習センターレイン	51	
10	2月10日	米叩子自じング	録と記憶 in鎌ケ谷」	ボーホール	51	
1.7	0 0000	中部小学校	3年生社会科「見てみよう!古い道具	中部小学校各教室	113	
1 /	17 2月20日 中部小学校		とむかしのくらし」	中部小子仪谷教主	113	
				合 計	762	

【出前授業の感想】

(一部編集・抜粋)

- 道野辺小学校4年生(10月18日)
- ・昔の土器は、いまと同じ食器。おなじなんだなということを知りました。ほねを見たい。火おこしをしたい。矢の種類をもっと見てみたいです。食べものをやきたい。鎌ケ谷には、こんなにもたくさんのいせきがあるなんて知らなかったので、みれたら見に行きたいです。
- ・土器のことを知った。土器の種類や遺跡のことを もっと知りたい。楽しかったし、学習もできた。 こんなきちょうな体験はあまりできないので、う れしかったし、土器のことも知れた。学習もでき て楽しかったので、またこういった体験をしたい です。
- ・土器が鎌ケ谷にあるなんてしらなかった。「家を たてていいですか」って聞かれてからじゃないと (はっくつは)ダメなんだなと思った。土器もさわれ てよかった。とても楽しかった。
- ・土器のもようをつくっているのが、すごい技術だなあとわかった。土の中に入っている時の土器がどんなふうに入っているのか知りたい。はっくつについて知りたかったから知れてよかった。
- ・縄文時代の文化や家のつくりがわかった。石器などに使う石はどこでとってくるのか。いろいろなことを知れて楽しかったです。
- ・土偶というものが人形ということを初めて知りま した。石の鏃をといでいるところを自分の目で見 たいです。本物の石器とか石鏃を見れてうれしか ったです。

- ・土器は、見つかったとき、ほとんどが割れている。鎌ケ谷には136ヶ所も遺跡がある。もようは、 縄などでつけている。土器はでこぼこしていた。 うずまきやしましまなどの模様があった。土器や 土ぐうについてもっと知りたい。土器にはどんな 形があるのか知りたい。もようをどのようにつけ ているのか知りたい。ふつうじゃできない体験が できてよかった。
- ・土偶は、おちていてもひろったりしてはいけない。はじめてしることがおおかった。
- 物をさわれてたのしかったです。けれど、お話が すこしながくてあきてきちゃったので、さわる時 間をふやしてほしいです。
- ・昔の人でも、ちゃんと頭をつかって、もようを作ったことがわかった。昔の人の食べ物をもっと知りたい。どうやって貝を見つけたのか。家とかの材料は、なんだったのかとか、いっぱい知れてよかったです。とっても楽しかったです。
- ・もし住宅街に家をたてる人がいたら、いっきに工事したり、調べたりする。土器などには、もようがあって、そのもようのつけかたは、ひものようなものをローラーみたいにつかって、もようをつける。ピーターパンでいせきの石は何個とれたのか。土器などをさわらせてくれて、ざらざらしていることがわかり、おもしろかった。
- ・鎌ケ谷市では、結構多く発掘されていることがわ かった。他の市では、どんな遺跡が発掘されるの か知りたい。

8 資料閲覧実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	3	0	4	3	1	4	0	0	4	0	3	1	2 3

9 収蔵資料の利用

No.	期日・期間	資料名	点数	利 用 者	利 用 内 容	種類
1	4月1日~ 3月31日	林跡遺跡出土遺物	8	県立中央博物館	常設展(通年貸出)	展示
2	4月1日	小金牧ジオラマ	1	市文化・スポーツ課	とっこめ桜まつり	展示
3	5月1日	『鎌ケ谷市史研究』第21号 再録「赤報隊幹部澁谷総司 の生涯」	1	個人	『変容する近世関東の村 と社会』(岩田書院、5月 30日発行)	再録
4	5月12日~ 5月13日	民具(背負い籠、膳・椀・ 茶碗、徳利、衣桁、長火鉢 、鉄瓶、五徳)	14	市文化・スポーツ課	とっこめ寄席	展示
5	5月29日	東葛人車鉄道路線図画像デ ータ	1	船橋市立法典西小学 校PTA40周年記念 事業実行委員会	船橋市立法典西小学校40 年誌	掲載
6	6月13日	東林跡遺跡出土ナイフ形石 器写真画像データ	1	有限会社アート・エフ	駿台文庫『2024-駿台 共 通テスト実践問題パック V 日本史B』(9月7日発 行)	掲載
7	7月7日~ 11月4日	広報移管写真画像データ (建設中の鎌ケ谷グリーンハ イツ、旧南部小学校)	5	鎌ケ谷グリーンハイ ツ自治会	鎌ケ谷グリーンハイツ自 治会広報誌	掲載
8	7月12日~ 7月13日	火起こしセット、黒曜石片	6	市立道野辺小学校	4年生総合授業	授業
9	8月30日~ 3月31日	市内個人旧蔵文書(第3次)谷田村関係文書	14	白井市郷土資料館	常設展で展示	展示
10	9月6日	鎌ケ谷大仏写真画像データ (昭和46・48年)	2	千葉テレビ放送	Newsチバ「千葉文化資産 特集」	放送
11	9月7日~ 9月9日	18世紀末の小金中野牧推定 復元図(パネル)	1	市文化・スポーツ課	県立鎌ヶ谷高校文化祭に 出展	展示
12	9月9日~ 9月22日	火起こしセット	2	市立道野辺小学校	4年生総合授業	授業
13	9月23日~ 11月12日	松戸市域写真画像データ (市内個人旧蔵文書〈第7 次〉) 「六実青物市場初荷 状況」「松戸市制記念会」	2	松戸市立博物館	令和5年度企画展「あの 日の"まつど"-写真で ふりかえる150年-」	展示掲載
1 4	9月30日	『鎌ケ谷・昭和の日々』掲 載写真画像データ	16	初富稲荷神社公式ホ ームページ	図録からホームページへ の転載	掲載

15	10月28日~ 10月29日	18世紀末の中野牧推定復元 図	1	国史跡下総小金中野 牧跡周知普及実行委 員会	第35回鎌ケ谷市産業フェ スティバル	展示
16	10月30日	旧鎌ケ谷小学校校庭での体 育の授業の様子写真画像デ ータ	1	市教育委員会	令和5年度『鎌ケ谷の教 育』表紙写真	掲載
17	10月31日	鎌ケ谷小学校での体育授業 風景写真画像データ	1	千葉商科大学政策情 報学部教授	千葉商科大学同窓会情報 誌『きずな』No.43「ゼミ 紹介 科学的プログラミ ング」	掲載
18	12月20日	中沢貝塚出土異形台付土器 写真画像データ	1	津山市	『津山市史』通史編 自 然·風土·原始·古代	掲載
19	12月31日~	澁谷家旧蔵文書	3	市広報広聴室	YouTube鎌ケ谷市長公式チャンネル「公開前の澁谷家住宅にかまたんが行ってきました」	動画公開
20	2月5日	精工舎と精工舎通り写真画 像データ (昭和30年・45年)	2	(株)ジェイ·エフ·ジ ー	BS-TBS「町中華で飲ろうぜ」	放映
21	2月	鎌ケ谷村監視哨・軍事郵便 画像データ	3	市立第五中学校	市域の戦争関係の授業教 材として	授業
22	2月20日~ 2月22日	民具	11	市立東部小学校	3年生社会科「古い道具 と昔のくらし」	授業
23	3月16日~ 3月17日	古写真画像データ	30	千葉商科大学政策情 報学部	千葉商科大学政策情報学 部×鎌ケ谷 鎌ケ谷プロ モーションDay!!作品展示 「古写真カラー化」	展示

10 市内 歴史・民俗資料調査

No.	月 日	調査内容	調査先	調査者
1	5月6日	小金谷春嶺について	市内個人宅(軽井沢)	当館学芸員1名
2	5月19日	民具受納および聞き取り	市内個人宅(中沢)	当館学芸員3名
3	5月25日	令和4年度廃棄市公文書より歴史公文書 選別	市役所地下書庫	当館学芸員3名
4	6月1日	個人(中沢)聞き取り	資料館研究室1	当館学芸員2名
5	6月6日	関東大震災、小作争議関係資料調査	千葉県立中央図書館	当館学芸員1名
6	6月8日	モノ資料概要調査	市内個人宅(南鎌ケ谷)	当館学芸員2名
7	6月17日	小金谷春嶺	県内個人宅(松戸市松戸)	当館学芸員1名
8	9月13日	市内個人家来歴、借用史料についての聞 き取り調査	市内個人宅(道野辺本町)	当館学芸員2名
9	10月21日	澁谷家家紋調査	佐津間共同墓地	当館学芸員2名
10	11月9日	故人関係資料調査	市内個人宅 (東道野辺)	当館学芸員1名
11	12月3日	安川家文書(第2次)調査(整理)	研究室1・3	当館学芸員4名、
				外部研究者1名、
				外部学芸員2名

12	12月6日	昭和20年代後半の鎌ケ谷小学校聞き取り	研究室 1	当館学芸員1名
13	1月14日	安川家文書(第2次)調査(整理)	研究室1・3	当館学芸員4名、
				外部研究者1名、
				外部学芸員2名
14	1月23日	筆子塔調查·写真撮影	宝泉院、延命寺、万福寺及	当館学芸員2名
			び安立庵	
15	1月31日	企画展用資料確認調査	南部小学校郷土資料室	当館学芸員1名

11 資料収集(寄贈・寄託資料)

No.	月日	種類	所 蔵 者	内 容	点 数	備考
1	5月11日	寄贈	個人	民俗資料	4	手ぬぐい
2	7月20日	寄贈	個人	民俗資料	7	おしゃらく踊り衣装及び風呂敷
3	7月29日	寄贈	個人	民俗資料	17	農具(鍬・万能、除草機、梨籠など)
4	8月25日	寄贈	個人	民俗資料	1	扇風機
5	8月30日	寄贈	個人	歴史・民 俗資料	7, 795	徳田家文書(第2次~第9次)
6	8月31日	寄贈	個人	歴史資料	602	絵葉書・地図など
7	8月31日	寄贈	個人	歴史・民 俗資料	18	市内商店街スタンプチケット、白黒テ レビ用布カバーなど
8	9月22日	寄託	個人	歴史資料	1	昭和52年住宅地図
9	10月6日	寄贈	新京成電鉄株式会社	歴史資料	2	旧日本陸軍鉄道聯隊演習用地境界杭
10	10月19日	寄贈	個人	歴史資料	4	手ぬぐい、滑車、秤
11	10月20日	寄贈	個人	歴史資料	54	軍票、古紙幣
12	11月18日	寄贈	個人	歴史資料	18	出征時日の丸寄せ書き、写真
13	12月1日	寄贈	個人	民俗資料	1	火鉢(木製・内部銅製、火箸2組・五 徳1点・蓋1点とも)
14	12月7日	寄贈	個人	民俗資料	1	昭和25年度鎌ケ谷小学校第1学年通知 表
15	12月7日	寄贈	個人	民俗資料	60	故人関係史料・写真
16	12月28日	寄贈	個人	民俗資料	2	播磨国神東郡屋形村渡辺家旧蔵写本
17	3月8日	寄贈	個人	民俗資料	2	風呂敷
18	3月28日	寄贈	個人	歴史・民 俗資料	26	小学校証書類(大正〜昭和、中野尋常 小学校、鎌ケ谷尋常・高等小学校
			合 計	8, 615		

12 資料借用

No.	借用期間	資料名	点 数	借用元	利 用 内 容
1	4月27日~	岡本家文書	1	市内個人	常設展に展示
	4月30日				
2	6月8日~	野々山家文書	21	市内個人	第27回ミニ展示「災害と流行病の歴史
	10月22日				と民俗in鎌ケ谷」で展示
3	10月11日~	野々山家文書	21	市内個人	郷土資料の調査(2を延長)
	11月30日				
4	9月13日~	手提金庫・トランク・	11	市内個人	封筒入れと目録作成、スキャニング、
	3月28日	軸物・写真・手紙等			資料の内容調査
5	10月8日~	浅海家文書	11	市内個人	史料の保全処置及び修補のため
	3月28日				
6	2月7日~	原米州の立雛	1	船橋市郷土資料館	ひな祭の時期に合わせた展示
	3月29日				

13 歴史・民俗資料等の整理状況

○市内・市外歴史資料群		・新京成電鉄株式会社旧蔵資料 2 点
・〔南鎌ケ谷〕個人旧蔵文書	347 点	・〔新鎌ケ谷〕個人旧蔵資料 35 点
〔道野辺中央〕個人所蔵文書	1,260 点	・〔東道野辺〕個人旧蔵資料 2点
〔道野辺中央〕個人旧蔵文書	1 点	・〔西道野辺〕個人旧蔵資料 2点
・〔東中沢〕個人旧蔵文書	602 点	
・〔右京塚〕個人旧蔵文書	17 点	
・〔新鎌ケ谷〕個人旧蔵文書	10 点	○写真資料の収集 (スキャニング)
・〔東道野辺〕個人旧蔵文書	16 点	・〔道野辺中央〕個人所蔵写真 384 カット
・〔中央〕個人旧蔵文書	1 点	・〔中佐津間〕個人旧蔵写真 42 カット
・〔くぬぎ山〕個人旧蔵文書	2 点	・〔松戸市常盤平〕個人所蔵写真 2カット
・〔新鎌ケ谷〕個人所蔵文書	2 点	・〔初富〕個人所蔵写真 232 カット
〔市川市八幡〕個人旧蔵文書	26 点	・〔東道野辺〕個人旧蔵写真 4カット
○モノ資料		・〔南鎌ケ谷〕個人旧蔵写真 13 カット
・〔初富〕個人旧蔵資料	8 点	〈すべて写真紙焼のスキャニングによる〉
・軽井沢おしゃらく保存会旧蔵資料	7 点	
・〔東中沢〕個人旧蔵資料	17 点	○歴史公文書の移管・整理
・〔初富〕個人旧蔵資料	2 点	令和4年度末保存期限満了公文書 40箱
・〔南鎌ケ谷〕個人旧蔵資料	1,092点	簿冊目録 257 点
〔右京塚〕個人旧蔵資料	1点	

14 古文書の修補

外部委託 個人所蔵文書 13点

15 他機関との協同事業・調査

No.	実施月日	協 同 先	内容
1	6月9日	岡山県立記録資料館	市内在住の方より申し出のあった岡山県美作市の歴史資料の寄贈仲立ち
2	12月3日・ 1月14日	船橋市郷土資料館	安川家文書(第2次)の整理
3	年間	千葉商科大学大矢野ゼミ	市域古写真(明治~昭和)のAIカラー化

16 レファレンス

※1 来館には、企画展入場も含む

	市内	市外	大 人	子ども	来 館	電 話	メール	その他	合計(件)	人 数
4月	6	3	9	0	9	0	0	0	9	9
5月	1 0	4	1 6	0	1 1	0	4	0	1 4	1 6
6月	1 2	2	1 4	5	7	4	3	3	1 5	1 9
7月	1 1	4	2 1	0	1 2	2	1	0	1 5	2 1
8月	4	3	7	1	6	1	0	0	7	8
9月	4	8	1 5	0	4	4	1	3	1 2	1 5
10 月	1	2	3	0	0	1	2	0	3	3
11月	7	2	1 0	4	6	5	0	0	1 0	1 4
12 月	6	6	1 1	4	8	2	0	2	1 2	1 5
1月	4	0	4	0	1	0	1	2	4	4
2月	4	1	6	0	4	1	0	0	5	6
3月	1	2	3	0	1	1	1	0	3	3
合計	7 0	3 7	1 1 9	1 4	6 9	2 1	1 3	1 0	109	1 3 3

17 報道対応

No.	年月日	取材機関	取材内容	方法
1	7月15日	地域新聞社	第27回ミニ展示	電話
2	8月8日	船橋よみうり	第 27 回ミニ展示	来館
3	8月12日	船橋よみうり	市内の盆行事	来館
4	8月12日	読売新聞	第 27 回ミニ展示	来館
5	8月25日	千葉テレビ	鎌ケ谷大仏	現地取材・撮影
6	9月6日	東京新聞船橋通信局	徳田家寄贈文書・民具	来館
7	9月27日	読売新聞	徳田家寄贈文書・民具	来館
8	10月20日	千葉日報市川支局	新資料展示	電話

9	2月6日	北総鉄道(広報誌「ほくそう」)	鎌ケ谷市郷土資料館の概要	来館
10	3月14日	船橋よみうり	北初富の三峯講	電話・メール
11	3月19日	読売新聞	令和5年度企画展	来館
12	3月19日	船橋よみうり	令和5年度企画展	来館
13	3月19日	千葉日報	令和5年度企画展	メール
14	3月28日	J:COM	令和5年度企画展	来館

18 博物館実習

〈実習生〉

- 中央大学文学部人文社会学科 3 年生
- 立正大学文学部史学科 4 年生

〈期間〉

・8月12日(土)~8月20日(日)

〈内容〉

- 施設見学
- ・学芸員の業務、教育普及事業について
- ・子ども講座の実施
- 民俗資料の整理
- ・歴史資料調査について
- ・考古資料・歴史資料・民俗資料の取扱
- ・展示計画の作成

19 ボランティア活動

〈年間活動会議〉

6月21日

〈イベント補助〉

・縄文人の生活ウォッチング 7月30日・まが玉作り 8月13日・あんぎん編み 8月19日

・郷土資料館セミナー

12月8、24日、1月7、21日

・歴史講演会 10月1日、3月30日

20 刊行物

- ・ 令和 4 年度 郷土資料館年報 第 35 号 A 4 判・46 頁 300 部 (3 月 1 日発行)
- ・令和 5 年度 企画展図録 「鎌ケ谷の小学校 150 年史」 A 4 判・46 頁 500 部 (3月 16 日発行)
- ・展示リーフレット「鎌ケ谷の小学校 150 年史」 (3月 16 日発行) A 4 判・4 頁 800 部
- ・郷土資料館だより

第63号(6月1日発行)

第64号(9月15日発行)

第65号(11月15日発行)

第66号(2月1日発行)

各 A4判・4頁 1000部

21 市ホームページ掲載記事

〈「所蔵資料の紹介」シリーズ〉

No.	更新日	タイトル
1	4月19日	第 24 回 史料整理の現場から(4) 紙背に残された 100 年前のスペイン風邪流行の記録
2	6月 1日	第25回 史料整理の現場から(5)初富の古い地名について
3	8月1日	第26回 史料整理の現場から(6)馬にまつわる2枚の御札
4	9月3日	第27回 史料整理の現場から(7) 戦後間もない鎌小・鎌中の「合同運動会プログラム」
5	11月29日	第28回 史料整理の現場から(8) 鎌ケ谷に青い目の人形がやってきた!!アメリカ人形歓迎音楽会プログラム
6	12月12日	第29回 史料整理の現場から(9)明治30年代の鎌ケ谷郵便局の帳簿から

〈「デジタル写真館」シリーズ〉

No.	更新日	タイトル
1	4月28日	第 11 回 明治時代の鎌ケ谷を撮影した写真 (2) 中沢八幡・春日神社のクロマツの巨木
2	8月1日	第 12 回 明治時代の鎌ケ谷を撮影した写真(3)明尋常小学校増築記念
3	11月1日	第13回 澁谷貴重が初めて参加した相楽祭

22 刊行物の売払実績

発 行 年平成 2 6 年平成 9 年平成 2 9 年平成 1 5 年平成 2 3 年	売払冊数 2
平成9年 平成29年 平成15年	9
平成29年 平成15年	
平成15年	2
	4
平成23年	1
	1
平成22年	1
平成7年	2
平成12年	1
昭和60年	1
平成20年	4
平成10年	1
平成12年	4
平成14年	3
平成15年	6
平成16年	2
平成16年	2
平成19年	1
平成22年	5
平成23年	5
平成24年	12
平成25年	1
平成25年	5
平成27年	4
平成29年	3
平成30年	4
令和3年	12
令和5年	5
平成3年	1
平成7年	1
平成8年	1
平成10年	1
平成15年	4
平成16年	2
平成17年	1
平成21年	1
平成23年	1
平成24年	1
平成26年	2
平成28年	1
平成29年	2
令和4年	9
令和3年	6
令和4年	4
令和3年	7
	139
	平成3年 平成7年 平成8年 平成10年 平成15年 平成16年 平成21年 平成21年 平成23年 平成24年 平成26年 平成28年 平成28年 平成28年 平成28年 平成29年

Ⅲ 条 例・規 則

○鎌ケ谷市郷土資料館設置及び管理条例

昭和62年1月5日条例第5号 改正 平成26年3月19日条例第6号

(設置)

第1条 郷土の歴史、民俗等に関する資料を収集し、これを 保管及び展示して、市民の利用に供し、その教養、学術及 び文化の発展に寄与するため、鎌ケ谷市郷土資料館(以下 「資料館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 資料館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
鎌ケ谷市郷土資料館	鎌ケ谷市中央一丁目8番31号

(管理)

第3条 資料館は、鎌ケ谷市教育委員会(以下「教育委員 会」という。)が管理する。

(事業)

- 第4条 資料館は、次に掲げる事業を行う。
 - (1) 資料の収集及び保管に関すること。
 - (2) 資料の展示及びその説明助言に関すること。
 - (3) 資料に係る調査研究等に関すること。
 - (4) 資料に係る講演会及び研究会等の開催に関すること。
 - (5) 市史の編さんに関すること。
 - (6) 前各号に掲げるもののほか、資料館の目的を達成するために必要な事業

(開館時間)

第5条 資料館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

- 第6条 資料館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。
 - (1) 月曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号) に規定する休日(その日が月曜日に当たるとき は、その翌日)
 - (3) 12月29日から翌年1月3日まで

(入館の制限)

- 第7条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、入館を禁止し、又は退館させることができる。
 - (1) 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあるとき。
 - (2) 展示品又は施設等をき損するおそれがあるとき。
 - (3) その他資料館の管理上支障があるとき。

(指害賠償)

第8条 入館者は、資料館の施設若しくは資料等をき損し又 は滅失したときは、これによって生じた損害を賠償しなけ ればならない。ただし、教育委員会が特別の事情があると 認めたときは、賠償額の全部又は一部を免除することがで きる。

(指定管理者による管理)

第9条 資料館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67 号)第244条の2第3項の規定により、教育委員会が指定 する者(以下「指定管理者」という。)に行わせることが できる。

(指定管理者が行う管理の基準)

- 第10条 前条の規定により指定管理者に資料館の管理を行わせる場合、当該指定管理者が行う管理の基準は、次に掲げるものとする。
 - (1) 資料館の開館時間は、第5条に定めるところによる。
 - (2) 資料館の休館日は、第6条に定めるところによる。
 - (3) 資料館の入館の制限は、第7条に定めるところによる。
- 2 前項第1号の規定にかかわらず、指定管理者は、あらか じめ教育委員会の承認を得て、資料館の開館時間を変更す ることができる。
- 3 第1項第2号の規定にかかわらず、指定管理者は、あらかじめ教育委員会の承認を得て、資料館の休館日を変更し、又は臨時に休館することができる。

(指定管理者が行う業務の範囲)

- 第11条 第9条の規定により指定管理者に資料館の管理を行 わせる場合、当該指定管理者が行う業務は、次に掲げるも のとする。
 - (1) 第4条に規定する事業に係る業務
 - (2) 施設の維持管理(教育委員会が定めるものを除 く。) に関する業務
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、教育委員会が必要があると認める業務

(指定管理者による管理を行う場合の読替規定)

第12条 第9条の規定により、指定管理者に資料館の管理を 行わせる場合は、第3条及び第7条の規定中「鎌ケ谷市教 育委員会」又は「教育委員会」とあるのは「指定管理者」 と読み替えて、これらの規定を適用する。

(委任)

第13条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規 則で定める。

附則

この条例は、昭和62年4月1日から施行する。 附 則(平成26年3月19日条例第6号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。

○鎌ケ谷市郷土資料館設置及び管理条例施行規則

昭和62年2月26日教委規則第4号 改正 平成元年2月21日教委規則第4号 平成元年10月27日教委規則第20号 平成17年7月28日教委規則第7号 平成26年3月31日教委規則第4号

(趣旨)

第1条 この規則は、鎌ケ谷市郷土資料館設置及び管理条例 (昭和62年鎌ケ谷市条例第5号。以下「条例」という。) 第13条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定 めるものとする。

(職員)

第2条 鎌ケ谷市郷土資料館(以下「資料館」という。)に館長その他必要な職員を置く。

(資料の館外貸出)

- 第3条 資料の館外貸出を受けようとする者は、貸出承認申 請書(別記第1号様式)を鎌ケ谷市教育委員会(以下「教 育委員会」という。)に提出し、資料貸出許可書(別記第 2号様式)の交付を受けなければならない。
- 2 資料の館外貸出しを受けることができる者は、次のとおりとする。
- (1) 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2 条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により 文部科学大臣の指定した博物館に相当する施設
- (2) 社会教育法 (昭和24年法律第207号) 第21条に規定する 公民館
- (3) 国立の図書館及び図書館法(昭和25年法律第118号)第 2条第1項に規定する図書館
- (4) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する 学校
- (5) その他教育委員会が適当と認める者

(資料の寄託)

- 第4条 教育委員会は、資料館の展示又は研究に資する目的で、資料の寄託を受けることができる。
- 2 資料を寄託しようとする者は、資料寄託申込書 (別記第 3号様式) を教育委員会に提出するものとする。
- 3 教育委員会は、資料を受託したときは、受託品預り証 (別記第4号様式)を寄託者に交付しなければならない。
- 4 教育委員会は、受託した資料の模写、模型製作、写真撮影等を行い、又はこれを公刊しようとするときは、事前に 寄託者の承諾を得なければならない。
- 5 第三者が、前項の行為をしようとするときは、館長は寄 託者の承諾を確認しなければならない。
- 6 受託資料が災害その他避けられない事故により損害を生 じたときは、教育委員会はその責を負わない。

(指定管理者による管理を行う場合の読替規定)

第5条 条例第9条の規定により資料館の管理を指定管理者 に行わせる場合は、第3条第1項中「鎌ケ谷市教育委員会 (以下「教育委員会」という。)」とあるのは「指定管理 者」と、第3条第2項及び第4条中「教育委員会」とある のは「指定管理者」と、第4条中「館長」とあるのは「指 定管理者」と、別記第1号様式から別記第4号様式までの 規定中「鎌ケ谷市教育委員会」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

(委任)

第6条 この規則に定めるもののほか、必要な事項については、教育長が別に定める。

附則

この規則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則(平成元年2月21日教委規則第4号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成元年10月27日教委規則第20号)

この規則は、平成元年11月1日から施行する。

附 則(平成17年7月28日教委規則第7号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則(平成26年3月31日教委規則第4号) この規則は、平成26年4月1日から施行する。

○鎌ケ谷市史編さん審議会条例(休止中)

昭和62年3月28日 条例第13号

(設置)

第1条 鎌ケ谷市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じて、本市の市史編さんに関する基本的 事項を調査審議するため、鎌ケ谷市史編さん審議会(以下 「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、次に掲げる事項の調査審議を行う。 市史編さんの基本方針に関すること。 市史編さん計画に関すること。 その他教育委員会が必要と認めること。

(組織)

- 第3条 審議会は、委員5人以内で組織し、学識経験者のうちから、教育委員会が任命する。
- 2 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の 在任期間とする。

(会長及び副会長)

- 第4条 審議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。
- 2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会 長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

- 第5条 審議会の会議は、会長が招集し、議長となる。
- 2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のと きは、議長の決するところによる。

(庶務)

- 第6条 審議会の庶務は、市史編さん主管課において処理する。 (委任)
- 第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し 必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附則

この条例は、昭和63年4月1日から施行する。

第1号様式(第3条関係)

館外貸出承認申請書

年 月 日

鎌ケ谷市教育委員会 様

申込団体名所在地電話代表者氏名

鎌ケ谷市郷土資料館の資料を、下記により借用したいので申請します。

記

- 1 借用の目的
- 2 借用期間 年 月 日 から 年 月 日
- 3 利用の場所
- 4 利用の方法
- 5 借用したい資料

_	17.14								
		資	料	名	数	量	備	考	

- 6 輸送方法
- 7 資料取扱責任者
- 8 備 考

第2号様式(第3条関係)

館外資料貸出許可書

年 月 日

様

鎌ケ谷市教育委員会

年 月 日付けで申請のあった鎌ケ谷市郷土資料館の資料の館外貸出については、下記のとおり許可します。

- 1 利用目的
- 2 貸出期間
- 3 利用の場所
- 4 利用の方法
- 5 貸出資料

 ,						
資	料	名	数	量	備	考

6 輸送方法

第3号様式(第4条関係)

資 料 寄 託 申 込 書

年 月 日

鎌ケ谷市教育委員会 様

申込者住所氏名職業電話

鎌ケ谷市郷土資料館の資料として下記のとおり寄託したので申し込みます。 記

物 品 名	数量	寄託期間	備考(希望事項
			等)

受託品預り証

年 月 日

様

鎌ケ谷市教育委員会

下記の物品を鎌ケ谷市郷土資料館の資料として、確かにお預かりしました。

記

物 品 名	数量	寄託期間	備考

贈 書 IV 寄 図

都道府県 発 行 機 関 書 名

宮城 奥松島縄文村歴史資料館 令和 4 年度 東松島市文化財講演会

「王権と牡鹿郡ー赤井官衙遺跡は、なぜ史跡に指定されたのかー」

令和4年度 奥松島縄文村講演会「縄文とアイヌ」

茨城 神栖市教育委員会·神栖市歷史民俗資料館

神栖市近世史料集 第一集 人見家文書三 上高津貝塚ふるさと歴史の広場 第26回企画展「霞ケ浦に望む王-古墳時代前期の地域社会-」

取手市埋蔵文化財センター 取手市埋蔵文化財センター第51回企画展「絵はがきでよみがえる昔の取手」

取手市埋蔵文化財センター第52回企画展

「祈りのかたち―出土品から見る先史時代の祭祀ー」

栃木 栃木県立博物館 栃木県立博物館調査研究報告書「日光にまつられる以前の徳川家康と下野」

栃木県立博物館研究紀要-人文-

栃木県誕生 150 年記念 宮内庁宮内公文書館 栃木県立博物館 第 137 回

企画展「近代皇室と栃木~とちぎ御用邸ものがたり~」

群馬 岩宿博物館 岩宿時代通信 オリジン vol. 97~99

岩宿博物館研究紀要 岩宿 第4号

岩宿博物館開館 30 周年記念誌「岩宿博物館 30 年のあゆみ」

第77回企画展「郷土カルタの世界」

第78回企画展「岩宿Ⅱ石器文化からみた関東地方」

岩宿博物館 令和 4 年度 年報

岩宿フォーラム 2023/シンポジウム『更新世末期から完新世初頭における

遊動的狩猟採集民』予稿集

嬬恋郷土資料館 浅間山大噴火から240年・「天明三年」を語り継ぐ 嬬恋村・ポンペイ市友好

都市協定締結/鎌原観音堂周辺整備事業・嬬恋郷土資料館増改築工事完成記

念 令和5年度企画展 村の小さな博物館のポンペイ展

埼玉 行田市郷土博物館 三方領知替二〇〇年第33回テーマ展「描かれた忍城」

行田市郷土博物館研究報告 第11集

三方領知替 200 年行田市・桑名市・白河市友好都市締結 25 周年記念第 36 回

企画展「馬に祈りをのせて」

さいたま市 さいたま市史 通史編 原始・古代 I

三郷市 葦のみち 第33号

令和 5 年吉川市の文化財企画展・小学校創立 150 周年記念「小学校のはじま 吉川市教育委員会

りと校歌」

東京 青山学院大学文学部史学研究室 青山史学 第四十一号

> 板橋区教育委員会 第 21 回櫻井徳太郎賞受賞論文·作文集 歷史民俗研究

板橋区立郷土資料館 収蔵品展「煎茶にしませんちゃ?」

板橋区立郷土資料館年報-第34·35 号-板橋区立郷土資料館紀要-第24 号-

板橋区史跡公園(仮称)整備準備展覧会シリーズ 令和5年度工都展 印刷

産業一「残す」と「伝える」

企画展「震災後100年いたばしの現代化-関東大震災をきっかけに板橋はど

う変わったのかー」

令和5年度特別展「いたばしの富士山信仰-富士講用具と旅した人びとー」

一般財団法人東武博物館 東武博物館だよりNo.184~189

江戸東京博物館 東京都江戸東京博物館紀要 第14号

葛飾区郷土と天文の博物館 博物館だよりNo.135~137

葛西城址·青戸御殿出土資料集 5

令和5年度企画展「浮世絵に描かれたかつしか」

令和5年度特別展「The ご利益」

北区飛鳥山博物館 令和4年度春期企画展「I♥スーパー…スーパーマーケットのチラシにみる

昭和 | 展図録

北区飛鳥山博物館 研究報告 第25号

令和5年度秋期企画展「北区貝塚物語-とある少年が見た、おどろきの縄文

ワールドー

発行機関 聿 名 都道府県

東京 北区飛鳥山博物館 北区飛鳥山博物館だより ぼいす 第50、51号

公益財団法人渋沢栄一記念財団 青淵 第八八九~九〇〇号

國學院大學博物館 國學院大學博物館 研究報告 第40輯

国立ハンセン病資料館 資料館だより ライト 国立ハンセン病資料館

国立ハンセン病資料館 資料館だより No.119~121

渋沢史料館 渋沢研究 第三十六号 昭和館館報 第24号 昭和館

浅草寺 浅草寺 佛教文化講座 令和四年度 第67集

大正大学史學會 鴨台史学 第18、19号 東洋大学博物館年報 東洋大学文学部史学科·東洋大学教務

部文学部教務課

豊島区 鈴木信太郎記念館だより 第7、8号

区制 90 周年特別展「豊島大博覧会~過去から学び、今日を生き、未来に希望~」

豊島区立郷土資料館 生活と文化 研究紀要 第32号

かたりべ 豊島区立郷土資料館・芸術文化推進グループだより 143~145

豊島区立雑司が谷旧宣教師館 雑司が谷旧宣教師館だより 第69、70号

日本経済評論社 首都圏史叢書⑨首都圏形成の戦後史 計画・開発と自治体

日本大学理工学部科学技術史料センター CST MUSEUM 会報 第27、28号

練馬区立石神井公園ふるさと文化館 石神井公園ふるさと文化館ニュース Vol. 47、49 (公益財団法人練馬区文化振興会)

府中市郷土の森博物館だより あるむぜお 府中市郷土の森博物館だより No.143~146

文京ふるさと歴史館 文京ふるさと歴史館だより 第30号

文京ふるさと歴史館年報 第26号 令和4年度

房総史料調査会 紙魚之友 44 号

明治大学学芸員養成課程 MUSEOLOGIST38 明治大学学芸員養成課程 年報

MUSEUM STUDY34 明治大学学芸員養成課程紀要

靖國神社社務所 靖國 第813~824号

千葉 愛国学園大学 愛国学園大学人間文化研究紀要 第25号

旭市教育委員会 大原幽学記念館報告 第九号

我孫子市教育委員会 我孫子市文化財報告第21集 楚人冠と我孫子の暮らし 我孫子市史研究センター 我孫子市史研究センター会誌 我孫子史研究 3号

我孫子市史研究センター・会報 261 号

市川人権擁護委員協議会 令和5年度全国中学生人権作文コンテスト千葉県大会市川協議会入選作品集

市立市川考古博物館 市立市川考古博物館図録20「遺伝子からみた古代のイヌ」

市立市川考古博物館 館報 第50号

市立市川歴史博物館 開館40周年記念企画展「みなさまと歩んだ博物館」

伊能忠敬記念館 伊能忠敬記念館年報 第24、25号

印西市立印旛歴史民俗資料館 研究紀要 第5号

印西市立木下交流の杜歴史資料センター 印西の歴史 第14号

柏市教育委員会 柏市史 沼南町史 通史編 金ヶ作陣屋研究会 陣屋設立三百周年記念 わがふるさと金ヶ作陣屋と村の物語

鎌ケ谷市埋蔵文化財調査報告 第40集 令和4年度鎌ケ谷市内遺跡発掘調査

鎌ケ谷市教育委員会 報告書

鎌ケ谷市教育委員会学校教育課 教育広報ひびきあい No.72~74

鎌ケ谷市ボランティア連絡協議会 鎌ケ谷市ボランティア連絡協議会 創立 40 周年記念誌

鎌ケ谷市民まつり実行委員会 鎌ケ谷市民まつり実行委員会

鎌ケ谷市立鎌ケ谷小学校 創立 150 周年記念誌

かまがや図書館だより No.89 鎌ケ谷市立図書館 鎌ケ谷地区保護司会 保護司会だより 第45号

川村学園女子大学 研究紀要 第三十四巻 川村学園女子大学 図書委員会 君津市立久留里城址資料館 君津市立久留里城址資料館だより 54 号

都道府県 発 行 機 関

書 名

千葉 公益財団法人千葉県教育振興財団 令和5年度出土遺物公開事業 流山新市街地地区の遺跡展 大地より出でし

先人の足跡

国立歴史民俗博物館 企画展示「いにしえが、好きっ! -近世好古図録の文化誌-」

令和 5(2023)年度国立歴史民俗博物館 要覧

「陰陽師とは何者か うらない、まじない、こよみをつくる」 下総考古学研究会 下総考古学 別冊 下総考古学研究会創立 60 周年記念号

淑徳大学アーカイブズ 淑徳大学アーカイブズ・ニュース vol.27

白井市教育委員会 白井市文化財基礎調查報告書第17集 旧五十嵐家文書資料目録

> 白井市文化財基礎調査報告書第18集 滝田家所蔵文書 史料編 白井市文化財基礎調査報告書第19集 小金牧の牧士資料(追補)

なし坊の文化財解説シート№17 白井市指定文化財 山本家の板碑 白井市教育委員会 白井市郷土史の会 白井市郷土史の会機関誌 たいわ -語り伝える白井の歴史-No.38

かおり だより 7、8号 白井市郷土資料館

白井市郷土資料館年報 20 号

新京成電鉄株式会社 お出かけ情報誌 CiaO Vol. 167~172

袖ケ浦市郷土博物館 袖ケ浦市史研究 第21号

袖ケ浦市郷土博物館要覧 2023

令和四年度企画展Ⅲ 袖ケ浦の美術Ⅱ 傘寿記念「辻元大雲回顧書展」

令和5年度企画展「袖ケ浦の外来種」

館山市立博物館 新・地区展 vol. 10 館山 城と湊のまち

> 展示図録No.31 令和4年度企画展「供養する人々」 館山市立博物館報 ミュージアム発見伝 No.97

展示図録No.30 千葉県誕生 150 周年記念事業 関東大震災 100 年令和 5 年度

企画展「関東大震災と館山」

地域新聞社 船橋支部 ちいき新聞 鎌ケ谷版 VOL. 1055~1203

千葉県 ちば文化資産 GUIDE BOOK

千葉県の保護上重要な野牛牛物-千葉県レッドデータブック-植物· 京類編 千葉県環境生活部自然保護課

2023 年改訂版

ちば-教育と文化 No.7、96、98、99 千葉県教育文化研究センター

千葉県高等学校教育研究会歴史部会 房総史学 第63号

千葉県史料保存活用連絡協議会 千葉史協だより 第57、58号

千葉県博物館協会 千葉県博物館協会報 ちばの博物館 No.147・148 合併号、149

千葉県美術会 第72回 県展

千葉県文化財保護協会報 118号 千葉県文化財保護協会 千葉県文書館 企画展「日記のなかの関東大震災」

収蔵文書目録第三十七集 市原市分目 岡田(利)家文書目録 5

千葉県の文書館 第29号

千葉県北西部地区文化財行政担当者連

絡協議会事務局・流山市博物館

千葉県立現代産業科学館 千葉県立関宿城博物館

第12回千葉県北西部地区文化財発表会「建てる造る活かす」

千葉県立現代産業科学館 科学館ニュース No.45 千葉県立関宿城博物館 研究報告 第27号

千葉県誕生 150 周年記念企画展「地図は世につれ人につれ」

千葉県立中央博物館 房総の山フィール

ド・ミュージアム

房総の山のフィールド・ミュージアム ニュースレター しいむじな 77~80

千葉県立中央博物館 令和4年度 秋の展示「おはまおり一海へ向かう神々の祭一」

千葉県立中央博物館研究報告 第16巻第2号

令和 4 年度千葉県立中央博物館特別展「鯨」展示図録

千葉県立房総のむら 令和5年度トピックス展「むらのけものたち」

千葉県立房総のむら 体験のしおり

千葉県誕生 150 周年記念事業 令和5年度トピックス展 千葉県立房総のむら

「千葉の行商ー小さなからだと大きなカゴとー」

令和4年度千葉市・千葉大学公開市民講座講演録 酒呑童子の物語と千葉市 千葉市・千葉大学

~逸翁本『大江山絵詞』をめぐって~

発行機関 都道府県 書 名

千葉 千葉市教育委員会 千葉いまむかし No.36

> 千葉市美術館 千葉市美術館研究紀要 採蓮 第24号

千葉商科大学 政策情報学部 朽木ゼミ ぽたかま in 南部地区 千葉市立加曽利貝塚博物館 貝塚博物館紀要 第49号

千葉市立郷十博物館 研究紀要 第29号

ちば市史編さん便り №.30、31

流山市立博物館 ながれやま博物館だより 第3、4号

流山市立博物館年報 No.45

成田市教育委員会 成田市史研究 47

成田市下総歴史民俗資料館 資料館だより No.1~15 野田市史研究 第33号 野田市

野田市郷土博物館 令和5年度特別展「野田の剣術・剣道史」

船橋市遺跡調査会・船橋市教育委員会 千葉県船橋市佐倉道南遺跡(3)

船橋市教育委員会生涯学習部郷土資料館 令和五年度 船橋市郷土資料館企画展「私たちのまなびや」

令和4年度 船橋市郷土資料館年報 船橋市郷土資料館

船橋市郷土資料館・飛ノ台史跡公園博

物館

神奈川

船橋市郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館館報 みゅーじあむ・船橋第20、 21 号

飛ノ台史跡公園博物館 紀要 第19号 船橋市飛ノ台史跡公園博物館

令和4年度船橋市飛ノ台史跡公園博物館企画展 船橋市飛ノ台史跡公園博物館

「学制 150 年記念展ガッコウの遺跡-船橋の縄文時代中期-」

第 21 回縄文コンテンポラリー展 in ふなばし 「とびはくへのトビラ〜縄文と出会う〜」

船橋よみうり新聞社 船橋よみうり No.1443 北総鉄道株式会社 ほくそう vol. 127~131 松戸市教育委員会 1315 番地の松戸町役場

松戸市立博物館 松戸市立博物館紀要 第30号

松戸市立博物館館蔵資料目録1 プラスチックのデザイン関係資料

松戸市立博物館調査報告書7 森の住宅都市 常盤平団地の生活史 1960-2022

博物館開館 30 周年千葉県誕生 150 周年·松戸市制施行 80 周年記念

企画展「あの日のまつど-写真でふりかえる150年-」

松戸市立博物館年報 第30号

松戸市立博物館友の会 松戸市立博物館 友の会会報 第133、136~138号

茂原市 茂原市史 資料編 I (原始·古代·中世考古)

茂原市教育委員会 茂原市史調査報告書 第八集 千葉三郎関係文書調査報告書(上)

茂原市史調查報告書 第八集 千葉三郎関係文書調查報告書 (下)

「千葉県誕生 150 周年記念事業」美術企画展「人類への愛 鳰川誠一展

茂原市立美術館 · 郷土資料館 ~初公開の遺作と千葉県の風景~」

八千代市立郷土博物館 八千代市立郷土博物館 館報 No.29

和洋女子大学文化資料館・博物館学課程 国府台 26 号 和洋女子大学文化資料館·博物館学課程 報告

神奈川県立公文書館 神奈川県立公文書館だより 第48号 令和4年度神奈川県立公文書館年報

歴史と民俗 神奈川大学日本常民文化研究所論集 40

川崎市市民ミュージアム 川崎市民ミュージアム 紀要 第35集

IN ACTION 川崎市市民ミュージアム インフォメーション Vol.0

公益財団法人 馬事文化財団 秋季特別展「戦国武士と馬」

春季特別展「浮世絵美人と馬」

民具マンスリー 第56巻1~12号

寒川町 寒川町史研究 第34号

神奈川大学日本常民文化研究所

首都圏形成史研究会 年報 首都圏史研究 2022 第12号 首都圈形成史研究会事務局 首都研ネットワーク 第97~100号 鶴見大学博物館学芸員課程 鶴見大学博物館学芸員課程年報 第4号

平塚市博物館 平塚市博物館研究報告 自然と文化 No.46 都道府県 発行機関 書名

神奈川 平塚市博物館 平塚市博物館年報 No.46

令和5年度夏期特別展「茶色ばっかりじゃないんだぞ!~カラフルな考古資

料たち~」

平塚市博物館·第23回博物館文化祭実

行委員会

第23回 博物館文化祭-ワーキンググループ活動展示・報告・実演-

藤沢市文書館 歴史をひもとく藤沢の資料 7 遠藤地区

横浜開港資料館 開港のひろば №155

新潟 十日町市博物館 十日町市博物館 年報 一第9号一

TOPPAKU「笑う縄文人 縄文人の喜怒哀楽」

長岡市立科学博物館 NKH 長岡市立科学博物館報 №107

長岡市立科学博物館研究報告 第58号

長野 飯田市歴史研究所 飯田市歴研ニュース No.123~128

史料で読む飯田・下伊那の歴史 3 山里 南信濃のあゆみとくらし

静岡 静岡市歴史博物館 しずおか歴史探検 静岡市歴史博物館公式ガイドブック

掛川市 瀬戸山 I 遺跡第 8 次発掘調査報告書 沼津市明治史料館通信 第 153~156 号

古山上兴上海兴建华岭公西 第 100 月

愛知 南山大学人類学博物館 南山大学人類学博物館紀要 第42号

岐阜 各務原市教育委員会 かがみはら百科プラスNo.03「養虫山人 各務原を行く」

かがみはら百科プラスNo.04 令和4年度企画展「御膳籾~徳川将軍も食した

各務原の米~」

かがみはら百科 Vol. 04 特集「関ヶ原の戦い前哨戦 新加納の戦い」

みのかも文化の森 美濃加茂市民ミュー

ジアム

MUSEUM NEWS みのかも 文化の森 vol. 109

滋賀 栗東歴史民俗博物館 栗東歴史民俗博物館だより Vol. 44

栗東歴史民俗博物館紀要 第29号

京都 南丹市立文化博物館 南丹市立文化博物館だより 第19号

令和5年度夏季企画展「人々のくらしと法令」

開館二五周年記念・令和五年度秋季特別展「大堰川と由良川の水運-川と人

の暮らしー」

奈良 天理大学附属天理参考館 天理参考館報 第36号

大阪 柏原市立歴史資料館 令和4年度 春季企画展「百済の王族が眠る? 高井田山古墳」

柏原の歴史2 古墳時代

柏原市立歴史資料館館報 第34号

羽曳野市教育委員会 古市遺跡群 XLIV 羽曳野市埋蔵文化財調査報告書 91

羽曳野市内遺跡調査報告書-令和2年度-羽曳野市埋蔵文化財調査報告書

92

岡山 津山市史編さん委員会

新修 津山市史 通史編 自然風土・原始・古代

その他 行田市・桑名市・白河市合同企画展実

行委員会

三方領知替 200 年行田市・桑名市・白河市友好都市締結 25 周年記念合同企

画展「武門の遺産(レガシー)-徳川家を支えた忍・桑名・白河-」

個人 國學院雑誌 第一二三巻十号 令和四年十月十五日発行 抜刷「戦前日本の選挙運動と候補者家族」

争連動と候梱者家族」 神戸大学大学院工学研究科 修士論文 日本における公園墓地の成立経緯と

その計画への欧米墓地の影響

歴史的資料で読み解く伊藤音次郎 明治末から大正・昭和、民間航空を愛し

続けた飛行家の生涯

里見氏研究会 里見氏研究 第2号

吉川弘文館 日本歴史 2023 年 6 月号 第 901 号

鎌ケ谷市郷土資料館年報 第 37 号 〔令和 5 年度〕 令和 7 年 3 月 12 日発行

発 行 鎌ケ谷市郷土資料館

〒273-0124 千葉県鎌ケ谷市中央 1-8-31

TEL 047 (445) 1030 FAX 047 (443) 4502